

# 防災かまどベンチの使用法

かまどベンチ：  
 EX-12800C2/K2/H/WM ・ EX-13800C2/K2/H/WM  
 EX-12801C2/K2/H/WM ・ EX-13801C2/K2/H/WM

この製品は、災害時や行事などの際に、煮炊きのための、かまどとしてご使用いただけます。

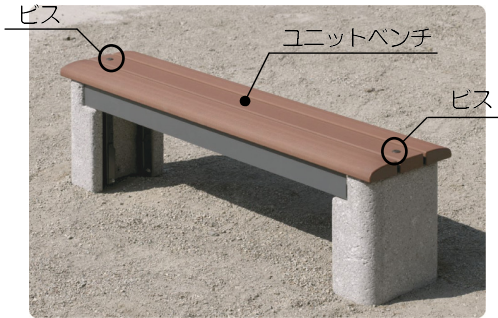
## A. かまどを使用する (ユニットベンチを取り外す)

■ 準備するもの

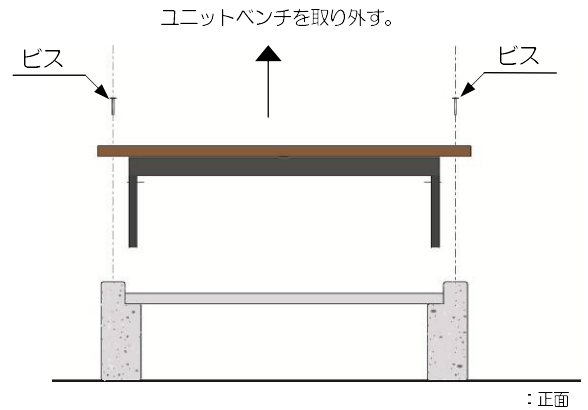
※安全の為、作業は必ず二人以上でおこなってください。

・専用レンチ (付属品)

1 付属の専用レンチを使用してビスをゆるめユニットベンチを取り外します。



専用レンチ



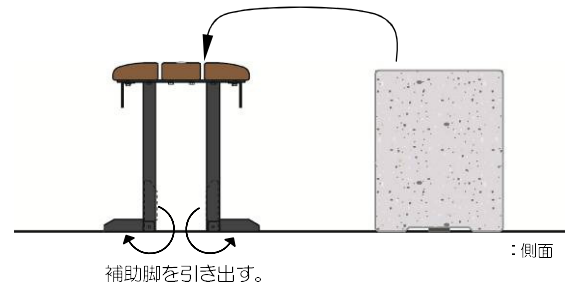
: 正面

2 ユニットベンチの補助脚を引き出します。



※安全の為、必ず補助脚は引き出して下さい。

補助脚

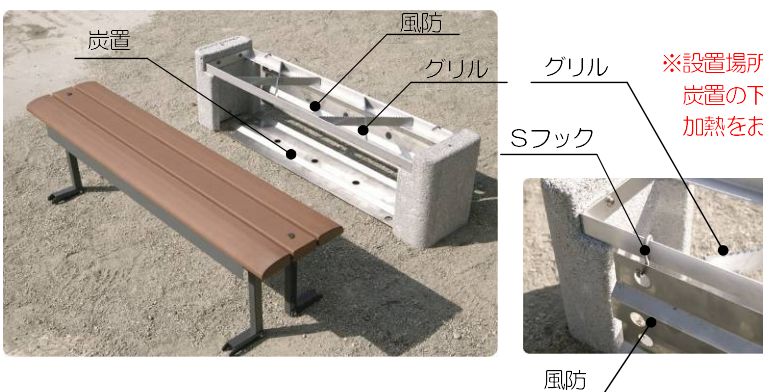


: 側面

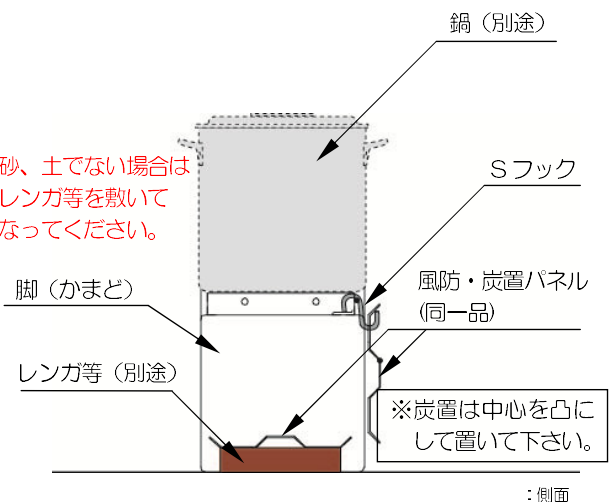
3 中の部品を確認します

- 風防・炭置 (各1枚: 同一品)
- Sフック (2ヶ)

4 風防はSフックを使用してグリルに引っ掛けて、炭置はグリルの下に、それぞれセットします。



※設置場所が砂、土でない場合は炭置の下にレンガ等を敷いて加熱をおこなってください。



: 側面

5 使用時は、市販の油とび防止グッズなど (別途) を使用すると、本体の汚れ防止に効果があります。



油とび防止 (別途)

45Lの鍋 2つで、約300人前のトン汁を調理することができます。  
 (※鍋は別途)



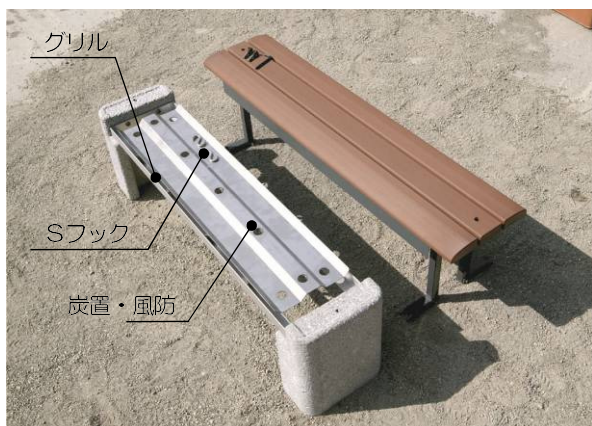
: 側面

# 防災かまどベンチの使用法

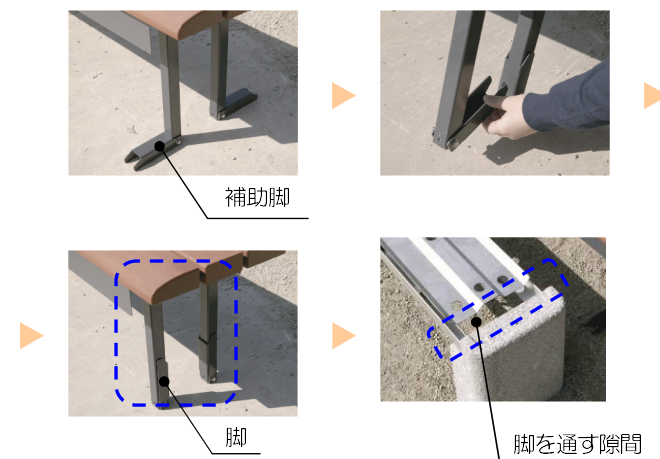
## B. ユニットベンチを収納する（かまど使用後）

※安全の為、作業は必ず二人以上でおこなってください。  
 ※本体が完全にさめた状態で、各部品・上台を取り付けて下さい。

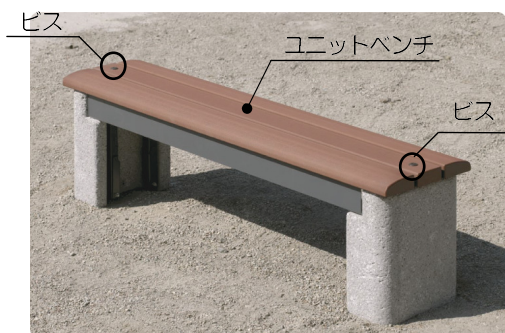
- 1 グリルの上に、風防・炭置を重ねて収納し、その上にSフックを置きます。



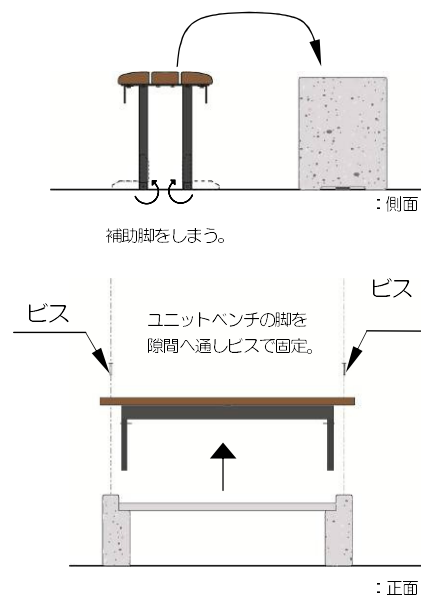
- 2 ユニットベンチは、補助脚を折りたたんでから、2/3 ページ脚を本体にセットします。  
 （※脚をグリルの隙間に通して下さい）



- 3 ユニットベンチと本体をビスで固定して完成です。



専用レンチ



### ⚠ 使用上の注意

- ・加熱時は引火の恐れが無いように、製品の周りには十分なスペースを確保してください
- ・設置場所が砂、土でない場合は、レンガ等を敷いた上で加熱をおこなってください。
- ・加熱後すぐに水をかけると製品が破損する恐れがあります。製品の温度が十分に下がってから清掃作業を行ってください。
- ・消火後、製品は大変高温になっています。製品の温度が下がるまでは近づいたり、手を触れないようにしてください。

※製品を管理される方は本資料と取扱説明資料および専用レンチを紛失しないように大切に保管して下さい。

# 防災かまど製品をご利用いただく際のご注意

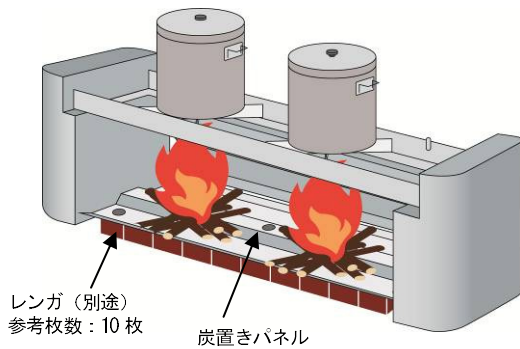
## 使用上の注意

- ・ 加熱時は引火の恐れが無いように、製品の周りには十分なスペースを確保してください。
- ・ 設置場所が砂、土でない場合は、レンガ等を敷いた上で加熱をおこなってください。  
(下図参考使用例参照)
- ・ 加熱後すぐに水をかけると製品が破損する恐れがあります。製品の温度が十分に下がってから清掃作業を行ってください。
- ・ 消火後、製品は大変高温になっています。製品の温度が下がるまでは近づいたり、手を触れないようにしてください。

### 参考使用例

#### かまどベンチ

EX-12800K2/C2/H/WM・EX-13800K2/C2/H/WM  
EX-12801K2/C2/H/WM・EX-13801K2/C2/H/WM



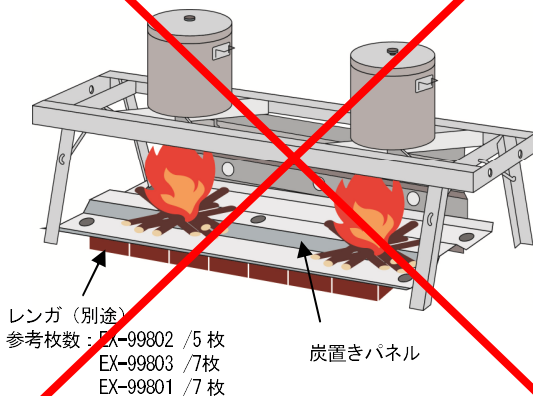
#### 防災かまどスツール

EX-14321T2/C2/H/WM



#### サークルベンチオプションかまどセット

EX-99802・EX-99803・EX-99801



#### 旧型かまどベンチ

EX-12080B (背付き)  
EX-13080B (背なし)

